

会 見 年 月 日	令和4年12月22日（木曜日）		
担 当 課	消防本部 警防課	（担当者名：笹井）	
問い合わせ先	TEL：43-6883	（内線：5204）	FAX：45-0119

## 管内事業所との合同消防訓練の実施について

### 1. 趣 旨

災害発生時の初動対応、被害の拡大防止及び消火技術の向上並びに発災時における自衛消防隊との連携体制の確立を図ることを目的とし、訓練を行います。

### 2. 日 時

令和4年12月27日（火） 9時00分から10時00分まで

### 3. 場 所

赤穂市折方1543番地 富士フィルム和光純薬株式会社播磨工場

### 4. 訓練想定

地震により屋外貯蔵所において、ドラム缶が転倒し危険物が漏洩、何らかの火源により火災が発生。屋外貯蔵所南側、B-3工場に延焼拡大する恐れがある。

なお、事業所の自衛防災組織により、初期消火を行っていた従事者数名が負傷している模様。

### 5. 訓練参加機関

赤穂市消防本部	消防車両	8台	27名
富士フィルム和光純薬株式会社播磨工場	従業員		30名

### 6. 訓練内容

- （1）指揮本部設営及び情報収集
- （2）はしご車からの放水
- （3）消防隊による要救助者救出及び救急処置

### 7. その他

小雨決行。荒天により訓練を中止する場合は、訓練当日の午前8時を目途に決定します。

## 富士フィルム和光純薬株式会社播磨工場との合同消防訓練の実施について

- 1 目 的 危険物施設を有する富士フィルム和光純薬株式会社播磨工場と合同で訓練を実施することにより、災害発生時の初動対応、被害の拡大防止及び消火技術の向上並びに発災時における自衛消防隊との連携体制の確立を図ることを目的とする。
- 2 日 時 令和4年12月27日（火） 9時00分から10時00分
- 3 場 所 赤穂市折方1543番地 富士フィルム和光純薬株式会社播磨工場
- 4 参加車両 可搬積載車（赤穂20）、司令車（赤穂21）、査察車（赤穂22）、タンク車（赤穂23）、ポンプ車（赤穂24）、救急車（赤穂26）、15mはしご車（赤穂27）、泡原液搬送車（赤穂33）
- 5 訓練想定 地震により屋外貯蔵所において、ドラム缶が転倒し危険物が漏洩、何らかの火源により火災が発生。屋外貯蔵所南側、B-3工場に延焼拡大する恐れがある。  
なお、事業所の自衛防災組織により、初期消火を行っていた従事者数名が負傷している模様。
- 6 活動内容 指揮隊 司令車（赤穂21）  
正門前において関係者から情報の収集を行い、災害実態の把握及び活動方針を決定。各小隊長及び各分隊長を集結させ、各隊へ任務命令を下す。その後指揮本部（事務棟西側駐車場）を開設し、全体の総括指揮を実施する。  
  
第1小隊  
第1分隊 消火隊 15mはしご車（赤穂27）  
品質管理棟付近に部署。屋外貯蔵所の延焼拡大防止のため、赤穂33から送水を受け梯上放水を実施する。放水場所にあつては屋外貯蔵所西側（道路上）とする。  
  
第2分隊 消火隊 泡原液搬送車（赤穂33）  
赤穂27の後方に部署。赤穂27へ送水を行う。送水完了後、赤穂27の補助にあたる。  
  
第3分隊 救急隊 救急車（赤穂26）  
消防隊が救出してきた負傷者を引継ぎ、適切な観察及び処置を行い、医療機関へ搬送する。

## 第2小隊

### 第1分隊 消火隊 ポンプ車（赤穂24）

品質管理棟付近に部署。屋外貯蔵所付近に倒れている負傷者の救出にあたる。ともに、泡放水（空放水）により消火にあたる。救出後、負傷者を救急隊に引き継ぐ。負傷者搬送後、赤穂23消火隊とともに消火活動にあたる。

### 第2分隊 消火隊 タンク車（赤穂23）

赤穂24の後方に部署。赤穂24へ送水を行い、完了後、赤穂24から1線延長し泡放水（水放水）するとともに、赤穂24消火隊の補助にあたる。

### ドローン

屋外貯蔵所周辺を飛行させ、延焼状況の把握を行い、指揮本部に報告する。

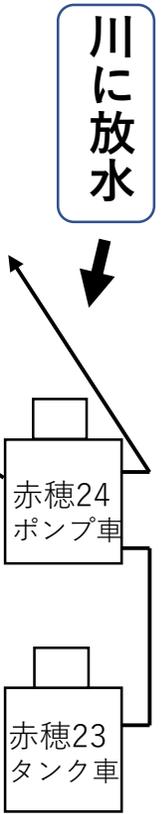
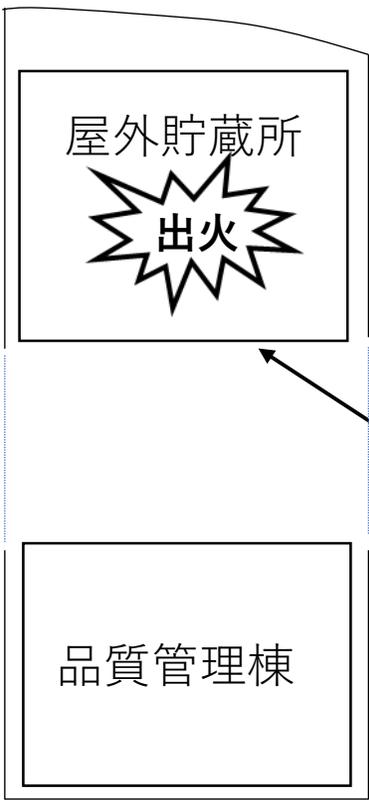
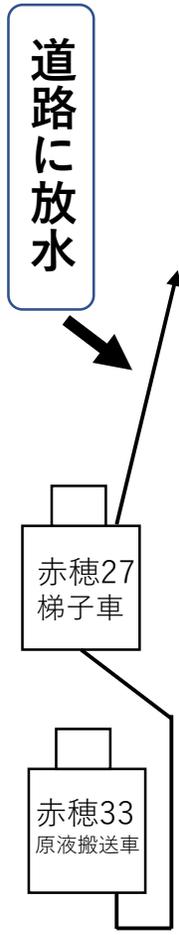
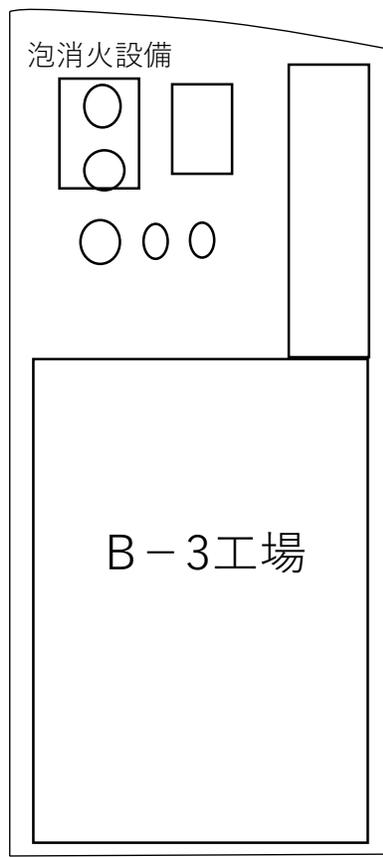
## 7 事業所の訓練内容 通報、避難誘導、初期消火、消防への情報伝達

- 8 その他
- (1) 水利については、正門南側防火水槽（100 m<sup>3</sup>）は使用せず、車両の積載水を使用する。
  - (2) 赤穂24からの放水は、1線は空放水とし、もう1線は大津川とする。  
（電線に注意すること。）
  - (3) 赤穂27の放水位置については、西側道路上とする。  
（電線に注意すること。）
  - (4) 小雨決行とする。中止の判断については、午前8時を目途に決定する。

大津川

# 車両配置図

大津川



駐車場



正門

※今回の訓練では使用しない

無蓋防火水槽100m<sup>3</sup>

# 車両待機場所及び訓練場所

